

警察庁のまとめによると、SNSなどのコミュニティーサイトを通じて、

2018年上半年（1月～6月）に犯罪被害に遭った18歳未満の子どもは、昨年同期より63人少ない856人でした。被害に遭った子

どもの9割以上がスマートフォンでサイトに接続し

ており、有害サイトの閲覧を制限する「フィルタリング」を利用していたのは9・9%でした。

被害者の約9割を高校生（459

人）と中学生（299人）が占めています。

被害に遭ったサイトは、「ツイッター」が最多342人、「ひま部」が94人、「LINE」が42人、「マリンチャット」が38人でした。子どもたちにSNSなどのコミュニテ

フィルタリングの利用促進を

ィーサイトで有害サイトの閲覧を制限する「フィルタリング」の利用を社会全体で促進し、被害に遭わないようにする必要があります。

防犯一口メモ